

市民活動・ボランティアを始めた人にも…

市民活動・ボランティア ニュース

2005年 **12**月号
平成17年11月25日発行
通巻84号

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

◆発行◆

514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknp@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターパレス3階) / オールウェイズ(津センターパレス1階) / 津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央) / (有)デザインオフィス萩野(津市大谷町301-1) / 市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15) / 南勢町市民活動室連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内) / 特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市一色町2) / 鳥羽NPOネットワークセンター・結(鳥羽市鳥羽1-3-8) / 特定非営利活動法人みえきた市民活動センター(桑名市田町33) / 四日市市民活動センター(四日市市蔵町4-17) / 寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19) / ウィリアム テルズ・アップル まちづくりセンター(伊賀市上野福居町3317) / みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階) / 伊賀市中央公民館 / 伊賀市立図書館 / 上野青年会議所 / 名張市立図書館 / 名張青年会議所 / 皇学館大学名張キャンパス / 名張市総合福祉センター / エコリソート赤目の森(名張市上三谷268-1) / 明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5) / 三重中央大学(松阪市久保町1846) / 松阪市市民活動センター(松阪市日野町788) / 名張市市民活動センター(名張市夏見2812) / 松阪まちづくりセンター「まちの駅松阪」(松阪市本町2217) / 伊賀市市民活動支援センター(伊賀市馬場1128番地) / <らしの情報センター同夢(名張市夏見251-1パークシティなばり) / 伊勢市民活動センター(伊勢市岩淵1丁目2-29)

【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会
【金融機関】百五銀行各店 / 三重銀行各店 / 東海労働金庫各店
【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13) / 三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南) / 三重県民サービスセンター(情報公開窓口) / 三重県総合医療センター / 三重県立一志病院 / 三重県立志摩病院 / 三重県立こころの医療センター / 斎宮歴史博物館 / 三重県立博物館 / 三重県立図書館 / 三重県生涯学習センター / 三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」 / 三重県人権センター / 三重県身体障害者総合福祉センター / 三重県環境学習情報センター / 各市町村役場

市民活動(NPO・ボランティア)団体からの協働事業提案 平成17年度採択 「県営住宅に入居する外国人の方に対する生活ガイダンス及び 県営住宅の外国人入居者への管理事業」

平成元年の「出入国管理及び難民認定法」の改正を契機に、ブラジル人を中心とした南米日系人の増加が顕著になっています。在住外国人が急増した地域コミュニティにおいては、言葉の違いによるコミュニケーション不足や、文化生活慣習の違いから、様々な問題、摩擦が生じています。

三重県の県営住宅では、約10%の外国人の方が入居し、多いところでは外国人の入居が40%を超えるところもあります。ゴミ、騒音、駐車場が問題になっているケースも見られ、日本人入居者と外国人入居者が互いに心地よく、暮らしていけるよう、三重県とNPO法人愛伝舎が協働で、「県営住宅に入居する外国人の方に対する生活ガイダンス、及び県営住宅の外国人入居者への管理事業」を検討していくことになり、平成18年度実施を目標に、検討会がもたれています。外国人の自治会参加など、住宅に関する問題だけでなく、外国人の多くが、問題と感じている子供の教育や医療など日本で生活していくうえで必要な問題について、考えていきたいと思ひます。



この事業を通し外国人の方に日本で生活していくうえでの、様々なルールを理解していただくと同時に、みんなに情報を提供していきたいと思ひます。また、日本人と外国人がお互い気持ちよく暮らしていける社会作りになっていけばと思ひています。この事業の検討会に多くの方に参加していただき、多文化共生社会作りをともに進めていきます。

(文責 特定非営利活動法人愛伝舎 理事長 坂本久海子)

つながる つなげる ⑧ 県ボランティアセンター 北出真由美 コーディネーター

みなさんは「福祉教育」って言葉ご存知ですか?とても簡単に説明してしまいますと、地域住民で、地域住民の問題を解決していくための基盤作りのひとつと言ったところでしょうか。(ん〜、何事も簡単に説明するって難しい…。)私の所属する三重県社会福祉協議会が推進していく事業のひとつともなっています。

これまでは、「教育」と言う言葉からも分かるように、主に学校を対象として取り組まれてきました。そういえば、学校で、ボランティア活動をしたり、福祉施設の訪問をしたり、高齢者などの疑似体験をしたことがあるという人も多いのでは?それ、福祉教育の一環だったのです。

でも、それだけでは、幅広い年代にはなかなか広がっていきません。そこで、学校に限らず、地域全体が関わるものを目指すよう、福祉教育は現在、方向転換されつつあります。

そこで問題になるのは、じゃあ具体的には何をやるの?ということです。いま、多くの社会福祉協議会の職員、ボランティアセンターの担当者が試行錯誤を重ねています。こうしたなか、先月開催された「全国福祉教育セミナー」では、防災を切り口にした福祉教育を具体案のひとつとして提案していました。例えば、避難訓練を避難所訓練に切り替えてみる。そうして、まずは、避難所内の配置を考える。お年寄りにはトイレの近くのほうがいいよね。とかいったことも。そうすると、どんな人が避難してくるのかを考えなくてはいけなくなるし、はたまた、どうやって避難してくるのかにも考えが及ぶことになる。となると、この地域ってどんな人が何処にいて、ここまでの道にどんなものがあつたっけ?地域のことをもっと知らなくては!となっていくわけです。

この他にも、子どもと一緒に市場を開くなどといった事例もあげられていました。皆さんも何か思いついたらご一報ください!

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

はじめの1歩

これから市民活動・ボランティア活動を始めたという方、始めたばかりという方の疑問などにお答えします。

NPO・ボランティア活動を通じて、自分をだんだん育てていく、人との関わり合いの中で育っていく、それも暮らしていく楽しみの一つだと思います。

プランニングをどうするか？

9月号で活動資金の話をしました。次は、自分の活動計画をたててみましょう。ボランティア活動なら自分のライフサイクルに合わせて無理せずに続けるためにはなにをするか等をちょっと考えてみるのが大事です。NPOならば、自分たちが実現したい目標に沿って、資源を効果的に活用して活動することや、将来的にどういった活動をしていくのかを考えていきます。NPO法人は申請時に2ヶ年の事業計画を提出しますから、遠い将来に向けた第1歩の時間的な距離感はそのくらいを目安にしてはどうでしょうか。

ボランティア活動とNPO活動がちょっと違っている一つの例ですが、個人の能力と自発的な意思で活動していけるか、団体として活動していくために自分がその活動計画のどういった役割で貢献できるかが違います。役割や能力をうまく組み合わせれば、個人で活動するよりも大きな効果を出すことが可能になります。それが、団体で活動していく大きなメリットです。しかし、団体で活動していくと言っても、支えているのは団体のメンバーですから、ついなんでも出来る人に頼りがちです。でも、思い切った何かの役割を引き受けてみると気がつかなかった自分の可能性が見えてきたりします。

(文責 三重県生活部NPO室 森下)

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は12団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民局生活環境森林部に備え置いております。

●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
- (1)さんぽ倶楽部(2)川上善幸(3)伊賀市生流里3118番地の1/(1)BEATボクシングフィットネスジム(2)石井広三(3)四日市市泊村954番地エスパランス四日市3階/(1)多文化共生NPO世界人(2)具志アンデルソン飛雄馬(3)松阪市東町157番地3/(1)こどもの安全を守る会コアラ(2)常俊朋子(3)名張市つじが丘北3番地5番地/(1)とんぼ池山荘(2)和泉かつ子(3)名張市安部田砥口1094番地/(1)NAN(2)南 祐二(3)津市白塚町3025番地/(1)医療福祉メディアプランニング(2)中村仁勇(3)鈴鹿市国府町4935番地の148/(1)アポーヨブラジル(2)山本久義(3)津市高茶屋6丁目1番22号/(1)あいプロジェクト(2)今村博之(3)四日市市桜町540番地11/(1)優(2)森 由美(3)鈴鹿市東磯山2丁目22番1号/(1)やすらぎ動物霊園(2)伊藤 孝(3)伊勢市旭町288番地/(1)芝生のグラウンドを愛する会(2)木村文治(3)名張市上小波田字狭間1990番地

(平成17年10月15日～平成17年11月14日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 特定非営利活動法人熊野スローライフ協会(平成17年7月19日)
- 特定非営利活動法人三重・建築設備フォーラム(平成17年8月16日)
- 特定非営利活動法人みすぎ杉の実福祉会(平成17年9月1日)
- 特定非営利活動法人フレンドハウス愛(平成17年9月27日)
- 特定非営利活動法人NPO法人ボリス(平成17年10月6日)
- 特定非営利活動法人一番ぼし(平成17年10月7日)
- 特定非営利活動法人伊賀・島ヶ原おかみさんの会(平成17年10月7日)
- 特定非営利活動法人ひのきの会(平成17年10月14日)
- 特定非営利活動法人青都鳥羽市民の会(平成17年10月18日)
- 特定非営利活動法人トータルクリーン環境保全(平成17年10月21日)
- 特定非営利活動法人介護障害福祉事業団ひなたぼっこ(平成17年10月21日)
- 特定非営利活動法人あいうスポーツクラブ(平成17年10月24日)
- 特定非営利活動法人三重画像診断支援機構(平成17年10月27日)
- 特定非営利活動法人心臓MRハンズオン(平成17年10月27日)

(平成17年10月15日～平成17年11月14日届出分)

鍵付きロッカー、メールボックス利用の申込受付のお知らせ

現在、みえ市民活動ボランティアセンター内にある、鍵付きロッカー、メールボックスを多くの団体の方にご利用いただいております。この利用期限が近づいてまいりましたので、来年度の受付をいたします。活動のためお役にください。

【現在、鍵付きロッカー、メールボックスをご利用のみなさまへ】
更新の時期が近づいてまいりました。来年も利用を希望される方は、下記期間内にもう一度、申込用紙を提出してください。来年の利用を希望されない方、抽選で漏れた方は、12月25日(日)までに、ロッカー、メールボックス内の物品をお持ち帰りください。

【新規に利用を申し込まれる方へ】

所定の用紙に必要事項をご記入のうえ、みえ市民活動ボランティアセンターまでご提出ください。

- 申込受付期間/12月1日(木)～12月20日(火)(必着)
- 利用期間/平成18年1月4日～平成18年12月28日
- その他/応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。申込用紙はみえ市民活動ボランティアセンターにありますので受付に声をかけてください。ご希望の方には郵送、FAXでもお送りできますが、郵送料はご負担くださるようお願いいたします。受付期間を過ぎた後でも空きがありましたら、随時、利用申し込みを受け付けております。その際は先着順となります。ロッカー、メールボックスの利用につきましては無料ですが、鍵の破損など明らかに利用者に責任がある場合は原状復帰をお願いいたします。
- 申し込み・問い合わせ先/514-0009
津市羽所町700 アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

イベントスケジュール

三重の建築家・住まいづくり展 vol.1

- とき/12月2日(金)～4日(日) AM10:00～PM4:00
- ところ/東邦ガス四日市支店1階ショールーム(JR四日市駅前)
- 内容/四日市市の建築家、若山 敦と、松阪市の建築家、加藤幸範のふたりが、より身近に建築家の存在を感じてもらおうと建築家展を企画しました。会場では、「一家団樂を求めた家づくり」を目指して、又、県産材をはじめとする安心・安全な素材での家づくりを提案して日頃より活動しているふたりの、作品パネル・模型の展示の他に、無料住宅相談も行います。こちらもよろしかったらお出掛けください。
- 問い合わせ先/若山建築設計事務所 Tel.0593-57-0777
ホームページ <http://www.cty-net.ne.jp/~wakseki/>
プラス設計室(加藤) Tel.0598-42-5363
ホームページ <http://www.za.ztv.ne.jp/plus/>

めいわ市民活動サポートセンター 法人化記念イベント

- とき/12月3日(土) AM10:00～
- ところ/明和町役場研修室
- 内容/第1部(AM10:00～AM11:30)はパーボのきらきらコンサート。お琴と尺八、フルートとクラリネット、ギターとヴァイオリンetc.いろんな楽器のアンサンブルをお楽しみください。コーラス斉王の合唱もあります。第2部(PM1:30～PM3:30)は記念講演会。「その力、共にいかそう!市民活動(NPO)が根付くまちをめざして」と題して、市民フォーラム21・NPOセンター事業企画局長の石井信弘さんにお話をいただきます。「市民活動なんてほんとに必要なもの?」って思っている方にもぜひ聞いていただきたい、お話です。
- 主催/特定非営利活動法人めいわ市民活動センター
- 共催/明和町地域教育力活性化協議会

ユニセフ支援♪チャリティーコンサート

- とき/12月3日(土) PM1:30開演
- ところ/四日市市文化会館第2ホール
- 参加費/無料
- (ユニセフカード500円分の協力をお願いします)
- 内容/パキスタン大地震後、生命の危機に直面する子どもたちを、はしか、寒さ、飢えから守ってください。出演は、四日市商業高校ギ

ターマンドリン部卒業生、東ソー(株)音楽部、ズームアップです。
●問い合わせ先/(特)みえ青少年ボランティアネットワーク、
(財)日本ユニセフ協会三重友の会
ホームページ <http://www.unicef.or.jp/>

宮川流域ルネッサンス円卓会議

●とき/12月3日(土)開場AM9:30 AM10:00~PM5:00
●ところ/県伊勢庁舎大会議室ほか
(伊勢市勢田町622、Tel.0596-27-5411)
●内容/宮川流域ルネッサンス協議会では、日本一の清流をめざして、地域の人々とともにさまざまな取り組みを重ねてきました。今回、今までの取り組みをさらに発展させ、行動に結びつけていくために、円卓会議を、地域の人々の知恵・アイデア・行動力で進める「想いをかたちにプロジェクト」として新たにスタートさせ、そのキックオフ大会を下記のとおり開催することとしました。宮川流域で活動をしている方や、これから始めようと思っている方、その他ご興味・関心のある方など、多くの方々のご参加をお待ちしております。
●主催/宮川流域ルネッサンス協議会、三重県 ホームページ
<http://www.miyarune.jp/new/2005/11071.htm>

ファシリテーター養成講座 ~驚くほどに組織が活きる~

●とき/12月3日(土)、17日(土) 両日共PM1:00~PM4:30
●ところ/津センターパレス4階会議室
●参加費/一般3500円、津市市民活動センター会員3000円
(いずれも2日間)
●内容/会議でみんなの意見がまとまらない、うまく引き出せない、何が決まったのか整理できない...そんなときに力を発揮するのが良いファシリテーターです。ファシリテーターとは、活動や会議などが、活発、円滑に進むようにサポートする「促進者」のことです。ファシリテーターの知識&ノウハウを学んで団体運営をスムーズにしてみませんか?講師は、えふらぼの栗本敦子さんです。
●募集人数/30人 ●応募締切/12月2日(金)PM5:00
●申込・問い合わせ先/514-0027 津市大門7-15
津センターパレスビル3階 津市市民活動センター
Tel.059-213-7200 Fax.059-213-7201
E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp
ホームページ <http://www.zvtv.ne.jp/tsusimin/>

第7回津市知的障害者生活交流会

●とき/12月4日(日)AM9:45~PM4:00
●ところ/津市お城西公園
(雨天時、津市社会福祉センター)
●内容/"ひろがれ友情・ひろがれ仲間"をキャッチフレーズに、知的な障害のある本人や家族、とりまく人たちみんなの理解と交流・親睦をはかるお祭りです。たくさん模擬店や楽しいゲームのコーナーなどいろいろありますが、本人や家族、たくさんのボランティアさんの手によって開催されます。ぜひ一度、のぞいてみてください。
●申込・問い合わせ先/津市知的障害者生活交流会実行委員会
Tel.059-225-3930
●主催/津市手をつなぐ親の会、(社団)日本自閉症協会三重県支部津ブロック

四日市市女性センターグループ支援事業

生き方講座~ところ美人になるには~

●とき/12月9日(金)、平成18年1月20日(金)
時間はいずれもPM1:30~PM4:00 ●参加費/資料代300円
●ところ/四日市本町プラザ1階ホール
●内容/今回のテーマは「朗読で解く瀬戸内寂聴文学~初期作品から源氏物語まで~」男女共同参画社会にあつて寂聴作品から生き方を探ります。講師である河原徳子さんの朗読により、寂聴文学の解釈を2倍楽しみましょう。
●主催・問い合わせ先/「こそすの会」(会長:久保田容子)
Tel.0593-74-1788
●共催/四日市市女性センター

財団法人三重ボランティア基金助成事業

名張子どもの本の連絡会交流会

●とき/12月9日(金)PM3:30~PM5:00

●ところ/名張市役所 1階大会議室
●内容/『読書に親しむ子どもたちを育てるための学校図書館の役割』を名張市教育委員会の方に、お話をうかがいます。これは出前トークという企画です。詳しくは名張市広報やホームページを参照ください。なお、同日、同場所、PM2:00~PM3:00に「学校図書館ボランティア養成講座」が行われます。講師は津市立図書館司書、西山ひろみさんです。こちらは名張市教育委員会学校教育室(Tel.0595-63-7882)に事前申込みください。
●申込方法/当日受付可
●問い合わせ先/名張子どもの本の連絡会(代表:高見)
Tel.0595-68-0226 Fax.0595-65-758

第11回オーツ先生を偲ぶ集い 「映画とトークの催し」

●とき/12月10日(土)AM10:00~PM3:30
●ところ/松阪市飯高町老人福祉センター
●参加費/2000円
●内容/AM10:00より映画「乱れ雲」を上映。出演は司葉子、加山雄三、草笛光子、森光子、浜美枝、加藤大介他。PM1:20より司葉子、小谷承靖によるトークショーを行います。
●募集人数/130人(定員になり次第締切)
●問い合わせ先/飯高地域振興局教育課 Tel.0598-46-7110
松阪市民文化会館 Tel.0598-23-2111
E-mail bunka.kai@city.matsusaka.mie.jp
●主催/松阪市、飯高オーツ会

「プロに学べ!」ダンスメソッド~表現の開花

●とき/12月10日(土)PM1:30~PM4:00
●ところ/四日市市文化会館 第1リハーサル室
●参加費/3000円
●内容/県内では第一線のプロアーティストと交流する機会がまずありませんので、文化的裾野は広いものの、レベルは全国基準から遅れています。そこで、BALLET・JAZZ DANCE経験者を対象に、東京で活躍するアーティストを招いて、ワークショップを開催します。
●申込・問い合わせ先/四日市市蔵町2-9 特定非営利活動法人アートNPOヒューマンシアター Tel.&Fax.0593-54-5680
ホームページ <http://homepage.mac.com/humantheatre/>

お正月飾りプリザーブドフラワー

●とき/12月11日(日)PM1:30~PM3:30
●ところ/三重県勤労者福祉会館2階教養教室
●参加費/受講料500円、材料費3500円 ●募集人数/20人
●内容/生花のようなみずみずしさと美しさが長い間楽しめる注目の花、プリザーブドフラワーを作りませんか。講師はコロンビア政府公認、日本プリザーブドフラワー協会認定会員の橋本美帆さんです。
●持ち物/フラワー用ハサミ(キッチンバサミ)、持ち帰り用の底の広い袋
●申込・問い合わせ先/津市栄町1丁目891番地 三重県勤労者福祉会館教養講座係 Tel.059-225-2800
ホームページ <http://www.mie-kinfukukyo.or.jp/kaikan/>

子育て応援セミナー

「四日市市子育て支援・虐待防止を目指す」

●とき/12月14日(水)AM10:00~AM11:55
平成18年1月11日(水)AM10:00~AM11:40
●ところ/四日市市文化会館第2会議室
●参加費/無料
●内容/12月のテーマは「子どもの心の成長と、親の心の成長 愉しく・発達心理学・ワーク・心の中の宝探し」。講師は認定心理士・チャイルドセラピストである岡和代さんです。1月は「食育・元気な心と身体は食から わかり易い・食と心と頭の関係・図説を交えて・グループミーティング」講師は食育指導士・ヘルシーサポーター21・心理カウンセラーの三好弘子さん。この日は11:40から心理カウンセラーの野村多己子さんによるNPOこころネットワークの子育て支援の活動紹介もあります。
●募集人数/先着50人。原則として2回共受講できる方、子育て中の方優先。託児は先着20人。1歳以上は1人につき500円が必要。
●応募締切/12月6日(火)
●申込方法/Faxまたは郵送。

●主催・問い合わせ先/512-1203 四日市市下海老町4249-1
(特)NPOこころネットワーク(代表:三好弘子)
Tel.0593-26-0534 Fax.0593-26-6090



ブラジルを体験しよう! ~アマゾンへの旅~

●とき/12月17日(土)PM1:30~PM3:30
●ところ/亀山市青少年研修センター1階集会場(亀山市若山町7-15 Tel.05958-2-3130 JR亀山駅より徒歩15分)
●参加費/無料(当日参加可) ●募集人数/30人
●内容/世界にはいろんな国があって、そこに住んでいる人々や生活、文化もさまざまです。今回はブラジルのアマゾン体験します。アマゾンのジャングルには不思議がいっぱい!ジャングルに住むインディオの話の間こう!インディオの主食も食べてみて!講師は亀山国際交流の会の宜保サムエルさん、宜保マウロさんです。参加対象は18歳以下の方。親子での参加もokです。
●主催・問い合わせ先/NGOセンターみえ(担当:肥田)
Tel.&Fax.059-231-7543 E-mail info@ngo-mie.org

NPO法人a trio経営セミナー

●とき/12月17日(土)PM2:00~PM5:00
●ところ/サンワーク津第2会議室 ●参加費/1000円
●内容/テーマである「経営品質向上プログラム」とは、顧客、競争(独自性)、社員、社会の全てにおいて高い評価を創り出すために、革新し続ける経営づくりを支援する一連のプログラムをいいます。日本経営品質賞を受賞した企業に学び、具体的にどのようなものなのかをビデオ視聴によって、イメージし、組織づくり、人作りに役立ててください。講師は経営品質セルフアセッサー、筒井昭仁さんです。
●申込・問い合わせ先/鈴鹿市南玉垣町7023番地(山崎・中村行政書士事務所) NPO法人a trio事務局
Tel.0593-81-5328 Fax.0593-81-5348
E-mail yamaguchi@a-trio.net
ホームページ http://www.a-trio.net



四日市市内の自然観察会

●とき・ところ/12月18日(日)北勢中央公園P
平成18年1月15日(日)四日市市少年自然の家P
平成18年2月19日(日)川島地区市民センターP
時間はいずれもAM10:00~正午
(小雨実施、早朝より大雨時中止)
●参加費/無料
●内容/12月は水辺の鳥・野山の鳥たち、1月は生きもののフィールドサインや春を待つ草木、2月は早春の花や生きものを観察。
●持ち物/筆記用具、サンプル持帰り用ビニール袋、ルーペや双眼鏡など。
●主催・問い合わせ先/四日市自然保護推進委員会
Tel.&Fax.0593-52-3058,059-232-0183
ホームページ
http://www.city.yokkaichi.mie.jp/kankyo/sizen.htm

DVと児童虐待の防止に関する講演会

「ドメスティック・バイオレンスを理解する~生きる力のみなもとへ~」
●とき/12月22日(木)PM1:00~PM4:00 ●参加費/無料
●ところ/三重県教育文化会館6階ホール
(津駅東口より徒歩約5分)
●内容/なぜDV(ドメスティック・バイオレンス)や児童虐待は、繰り返されるのでしょうか。DVと児童虐待を根絶するために、私達には何が出来るのでしょうか。講師に森田ゆりさん(エンパワメント・センター)をお迎えして、一緒に考えてみませんか。
●募集人数/定員360人 ●応募締切/12月15日(木)
●申込・問い合わせ先/三重県女性相談所 Tel.059-231-5905 Fax.059-231-5906
●主催/三重県健康福祉部こども家庭室、三重県女性相談所



地球のステージ

●とき/12月23日(金)PM1:30~PM3:30
●ところ/ふるさと会館いが大ホール

●参加費/無料(要事前申込)
●内容/ライブ音楽と大画面の映像で、世界でたくましく生きる子どもたちの様子がわかる「映像と音楽のシンクロ」ステージ!案内役の桑山紀彦さんは世界53カ国を歩き、国際医療救援活動を展開してきました。さまざまなNGO活動をされ、現在はNPO法人「地球のステージ」代表として活動中です。全国講演1000回を突破する人気。待ちに待った三重県での開催です。
●申込方法/名前、住所、電話番号を明記し、郵送、電話、E-mail、Faxにて。
●申込・問い合わせ先/518-8501 伊賀市上野丸の内116 伊賀市文化国際課兼上野支所 Tel.0595-22-9623 Fax.0595-22-9628
514-0009 津市羽所町700 アスト津3階 (財)三重県国際交流財団(担当:湯木) E-mail jicadpd-desk-mieken@jica.go.jp
●主催/三重県、国際協力機構中部国際センター(JICA中部)
●実施/(財)三重県国際交流財団 ●共催/伊賀市、上野国際交流協会

キッズシアター「わんわん忠臣蔵」

●とき/12月24・25日(土・日)AM9:30~AM10:50
●ところ/伊勢進富座 ●参加費/800円
●内容/手塚治虫が忠臣蔵にヒントを得た子犬の成長物語。母親を暴れ虎に殺された子犬のロックが成長し、47匹と仲間と一緒に虎に戦いを挑むまでを描きます。手塚と東映動画のコラボレーションによる3作品の作品です。
●問い合わせ先/青春キネマ館&キッズシアター上映実行委員会
Tel.0596-23-0839(受付時間PM7:00~PM10:00)

発達障害支援講座「ココロとカラダ ほぐしあそび」

●とき/12月25日(日)PM1:30~PM4:00
●ところ/四日市市総合会館8階視聴覚室(四日市市諏訪町2-2)
●参加費/500円(資料代含む・申込不要)
●内容/軽度発達障害(LD、AD/HD、高機能自閉症等)の理解と、体の動きがぎこちない、友だちとうまくかかわれないなど、発達の気になる子どもたちのココロとカラダを育てる「あそび」について学びます。講師は北海道教育大学釧路校助教授であり、北海道LDサポート学会常任理事・事務局長の二宮信一さんです。
●主催・問い合わせ先/NPO法人 四日市・子ども発達支援センター E-mail y_kodomo_siencenter@rabbit.livedoor.com
ホームページ
http://www16.plala.or.jp/kodomo-yokkaichi/
●共催/三重県学習障害児・者親の会ハナショウブ

KUNI-KEN 津軽三味線LIVE2005

"Sing & Shout!"
●とき/12月16日(金)開場PM6:00 開演PM6:30
●ところ/津リージョンプラザお城ホール
●参加費/前売2000円、当日2500円(全自由席)
●内容/チケットは津市教育委員会文化課(市役所7階)、津リージョンプラザ総合管理事務局などで販売しています。
●問い合わせ先/津市教育委員会事務局文化課
Tel.059-229-3250

公開講座「性と自立」

●とき/平成18年1月22日(日)PM1:00~PM4:30
●ところ/四日市市立勤労者総合福祉センター
(四日市中央緑地公園内、近鉄新正駅より徒歩15分)
●参加費/2000円
●内容/私立高校の生徒指導係として、たくさんの方のつまずいた子ども達と出会い、彼らから「自立にむかう思春期の発達とは何か」「発達を支えるには何が有効か」を教えられ、それをたくさん子どもや大人に伝えたいという、竹内未希代さんを講師に招きます。現在、竹内さんは性教育、人権教育ネットワーク「地域と家庭と学校と」や子どもへの暴力防止教育プログラム「CAPしなの」の代表、長野県社会福祉審議会児童福祉分科会専門委員などをされています。
●主催・申込・問い合わせ先/514-0125 津市大里窪田町2709-1 MIEチャイルドラインセンター内 『チャイルドライン24』実施組織 Tel.&Fax./059-211-0024
E-mail jissshi@childline24.net

ネットワークのよびかけ

Tel.03-3592-1275 Fax.03-3592-1268
E-mail gyomu2@jata-net.or.jp
ホームページ <http://www.jata-net.or.jp>

第2回「川のワークショップみえ」に参ろう!

昨年2月14日に三重県で初めて開催させていただいた第1回「川のワークショップみえ」では、県外を含めて25の団体が集い、山〜川〜海に関するさまざまな取り組みがコース、劇、紙芝居など、色々な方法で発表されました。次回のワークショップで発表していただける方を募集しています!詳しくは、「川づくり会議みえ」事務局までお問い合わせください。

●とき/平成18年2月19日(日) AM9:30~PM5:00

●ところ/三重県庁講堂

●問い合わせ先/川づくり会議みえ事務局(久世) Tel.090-5637-0727 E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp

ホームページ <http://kawamie.npo.gr.jp>

タイへのスタディツアー参加者募集

JICA青年海外協力隊の活動現場やNPO支援現場(少数民族のストリートチルドレン支援センター、職業訓練センターなど)、公的機関、ホームステイ、ボランティア活動などを行います。対象は県内に在住、通学、通勤する高校生以上で、心身ともに健康な方です。詳細は確定次第、ホームページに掲載します。

●とき/平成18年3月上旬~1週間

●ところ/バンコク、メーサイ、チェンライ、ファーン(予定)

●問い合わせ先/514-0009 津市羽所町700アスト津3階 三重県生活部国際室 Tel.059-222-5974

Fax.059-222-5984 E-mail kokusai@pref.mie.jp

ホームページ <http://www.pref.mie.jp/kokusai/hp>

セブンイレブンみどりの基金 環境市民ボランティア活動助成制度

●受付締切/平成18年1月31日(火)消印有効

●助成の対象となる活動(4助成共通)/以下をテーマとした、実践活動、普及啓発活動、研究調査活動

1、自然環境保護保全活動。 2、生態系保護保全活動。

3、体験型環境学習活動。 4、生活における環境負荷軽減活動。

【活動助成】

●助成の対象となる団体/「環境の保全を図る活動」が活動分野として認証されているNPO法人または任意の環境市民ボランティア団体。

●対象事業の期間/1年間。

●助成の額/上限特になし。総額6000万円。

【NPO法人格取得助成】

●助成の対象となる団体/団体として3年間程度の活動実績があり「環境の保全を図る活動」の活動分野で、平成19年2月28日までにNPO法人格を取得し、活動を行っていく任意の環境市民団体。

●対象事業の期間/原則3年間継続。

●助成の額/1団体あたり、1年間の上限50万円。

【モデル事業助成】

●助成の対象となる団体/「環境の保全を図る活動」が活動分野として認証されているNPO法人またはNPO法人が入り、地域の複数の団体で構成されているプロジェクトチーム。

●対象事業の期間/2年または3年間継続。

●助成の額/1団体あたり、1年間の上限200万円。

【自立事業助成】

●助成の対象となる団体/「環境の保全を図る活動」が活動分野として認証され、かつ3年以上の活動実績があるNPO法人。

●対象事業の期間/原則3年間継続。

●助成の額/1団体あたり、1年間の上限360万円。

●応募方法(4助成共通)/応募要項などはホームページからダウンロードするか、団体名、送付先の郵便番号、住所、氏名、電話、申請助成名を書いてFaxにて申込み。応募は郵送で。

●問い合わせ先/セブン-イレブンみどりの基金助成担当

102-8455 東京都千代田区二番町8-8

Tel.03-6238-3872 Fax.03-3261-2513

(電話受付時間 AM9:00~PM5:30 ※土・日曜日を除く)

ホームページ <http://www.7midori.org>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

助成金 ニュース

平成18年度 JATA環境基金

地球にやさしい市民活動支援助成

●受付締切/12月20日(火)消印有効

●助成の対象となる団体/日本国内に事務所を有する、市民主導のボランティア団体。特に、海外活動への助成を申請する団体の場合は、NPO法人格を有していること。

●助成の対象となる活動/1、観光地の自然や文化遺産を保全・保護する事業
2、環境に配慮した観光の発展に寄与する事業

●対象事業の期間/平成18年4月1日~平成19年3月31日

●助成の内容/原則、1団体につき上限100万円。

●応募方法/応募要項、助成申請費などは下記のホームページからダウンロード。応募は郵送にて。

●問い合わせ先/社団法人日本旅行業協会業務部業務第2グループ



桑名市

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター

511-0068 桑名市田町33 Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733

E-mail miekita@mie-kita.gr.jp ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

まちの人たちがつくって楽しむお祭り「ふれあい IN グリーンフェスタ」

人口14万人、世帯数5万戸ほどの桑名市で、いわゆる大山田と言われている新興住宅地には8500世帯、25000人ほどがくらしています。その筒尾、大山田、

野田、松ノ木、藤が丘、星見が丘6つの自治会連合会などが実行委員会をつくって、

11月3日に「ふれあいin グリーンフェスタ」を今年も開催しました。PTAや消防団などいろいろな地域の団体も入っています。

桑名のお祭りと言えばこんこんちきちきとにぎやかな石取祭りですが、新興住宅地の住人の私には「ふれあいin グリーンフェスタ」が身近なお祭りです。

地域のお母さんたちもたくさん出店しているフリーマーケットや、桑名の商店の方

たちが協力しているうまいもの横町、障害者施設の人たちのふ

れあいマーケット、地域のサークルの展示やホールでの発表会、イベントなど、いろいろな人たちが参加して年々にながやかに感じています。連合自治会の人たちもそれぞれにそのいはつびをきて、フェスティバルの進行を支えています。ふるまいのぜんざいをいただき、なつかしい船細工をながめ、多度の特産のみかんや豆菓子をはおぼり、こどもたちのパレードやダンスを楽しみ、楽曲の演奏を聞きながら、たくさんの人たちの行き来をうれしく見ていました。

先日、四日市にある北勢県民局で、『「これからの地域を担う住民像を考える」-「新しい時代の公」県民円卓会議』に参加し、桑名・いなべ・鈴鹿・亀山などの連合自治会長さんたちとお話したのですが、地域のことを真剣に考えているいろいろなことに取り組んでいる自治会長さんたちの姿を思い出していました。「地域の宅老所をNPO法人をつくって運営していこうと思っている。」と言われた自治会長さんの思いが、このグリーンフェスタのにぎわいとだぶって、地域の未来が少し見えた気がしました。



いせ市民活動センター
パーティいせ情報

■休館日/毎週水曜日 (その日が祝日に当たるときは、翌日以後の休日でない日)
■開館時間 午前9時から午後10時 <http://skc.e-ise.net>

12月17日(土)は
★参加者募集
パーティへ!

「第2回 リユースPC寄贈プログラム寄贈団体の発表」
「みなで遊ぼう学ぼう!!PC解体講座」
「市民活動2分間スピーチコンテスト」

●第2回いせepartsリユースPC寄贈プログラム
リユースPCの寄贈をすることで市民活動団体の交流の
輪が広がっていくことを期待する事業です。

12月17日いせリユースPC選考委員会にて、厳正な選
考にて決定、発表します!

◆対象 伊勢市周辺の公益性を持つ活動(ボランティ
ア活動など)を行なっている団体

◆台数 2団体に3台ずつ、2団体に1台ずつ合計8台

主催 NPO法人いせコンビニネット

NPO法人eparts(東京)

協力 NPO法人ひょうごんテック(兵庫)

●「みなで遊ぼう学ぼう!! PC解体講座」参加者募集
市民活動団体の交流のため、PC解体講座を行ないます。

2人1組での参加者を募集しております。必ず、18歳以上
の方が1名は入るようにしてください。定員は15組30名です。
パソコンに関心のある方、一度パソコンを壊して中身を見
てみたいという方、親子での参加もぜひどうぞ!!

●「市民活動2分間スピーチコンテスト」参加者募集

テーマは、「ITでつながる市民活動」「子どもとIT」「お
年寄りとIT」「外国人とIT」「災害とIT」「個人情報ほこ
うやって守る」の6つからです。大人の部と学生の部でそ
れぞれ10名程度募集します。

チャリティーコンサート

開催日●12月4日(日)

●オレンジの羽根を応援!

恒例になってきたチャリティーコンサート、おなじ
みのSATOKOさんやフォークグラスさんなどが
出演予定です。同時に、新しい伊勢市の市民活動団
体のパネル展示を予定しています。チャリティーで
集まったお金は「チャイルドライン24」と伊勢市の
防災の取り組みに寄付します。

いせ市民活動センター
パーティいせ

伊勢市岩淵1丁目2番29号

TEL 0596-20-4385

FAX 0596-20-4386

Email/skc@e-ise.net



このコーナーは伊勢志摩NPOネットワークの会が担当しています
<http://www.po-npo-n.com>

W.T.A.まちづくりセンター 情報
TEL: 0596-20-4387 伊勢市上野町500-1307
TEL: 0596-20-4387 伊勢市上野町500-1307
FAX: 0596-20-4386 伊勢市上野町500-1307
HP: <http://www.goccity.ise.jp/>
wilsam_tells_apple/ Ex-ii: nagi_42.4.36_yokoh-co.jp

新しい時代の役に...
協働
子供たちと...
上野町の伊賀
協働のまちづくり...
協働のまちづくり...
協働のまちづくり...

伊賀市市民活動支援センター

12月になりました。伊賀市内の各住民自治協
議会では、ただいま地域まちづくり計画の策定
に取り組んでいらっしゃいます。11月1日現在
では、4つの自治協議会がすでに策定済みとな
っております。

伊賀市でも、さまざまな計画等が策定中です(こ
れらは、伊賀市のホームページでもごらんいた
できます)。

住民自治協議会の中でも、広報紙の発行とともに、ホ
ームページによる情報発信に取り組まれる動きもあるよ
うです。

住民自治の活発化への支援を、伊賀市市民活動支援セ
ンターとしても取り組んでいきます。

また、他地域での取り組み事例等がありましたら、情
報をお寄せください。お待ちしております!

当センターへ50部以上チラシを送っていただ
ければ、伊賀市内の自治協議会へ配布します

〒518-1395 伊賀市馬場 1128番地 多目的集会所内
TEL: 0595-43-1135 (代表)
FAX: 0595-43-2205
Eメール: ignekase@net.ne.jp
ホームページ: <http://www.city.iga.lg.jp>

休館日: 月曜日・年末年始(臨時休館あり)
年末年始の休館日は、12/28~1/4です。
開館時間: 午前9時から午後9時
(ただし、午後5時以降は前日予約が必要です)

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。美杉村の坂本幸さんがバトンを渡したのは、名張市の中東さん。「農業や添加物を使わずに育てた地元産の材料を使い、昔ながらの食生活を送ること」が生きるための根本という考え方が、二人を結びつけています。

悩んだら私を呼んで。24時間、いつでも参上!

……活動を始めたきっかけは?

家族の病気です。それを治そうと、あちこち回って、今思えば「どうして、あんな所に行ったんだろう…」って思うような所にも行きました。そうやって、色々回っているうちに「治すきっかけは食べ物にあるんじゃないかな」と思うようになりました。それ以後は食べ物をテーマにした講習会に次々と参加していきました。中には怪しげな所もありましたよ。

……良い講習会を見分けるコツは?

参加料が高額でないこと。「これで病気が治る」というふれ込みの商品などを販売しない所でしょうか。家族の病気で悩んでいる人は「これで治る」と言われたら、高額でも買ってしまうものです。私も70万円の布団を買いました(笑)。今は笑い話ですけどね。

……講習会回りをしてたどり着いた結果が?

昔ながらの食事を三度三度、きちんととることでした。自分が生まれ育った場所で作られていて、農業や添加物を使っていない材料を使って、きちんと料理する。特に、病気の際は体が敏感になっていますから、無農薬、無添加の物が必要でした。ところが、いざきちんとやろうと思ったら、今度は材料が手に入りませんでした。それで自然食品などを扱うお店を始めようと思い立ったのです。家族の病気次第では夫も仕事を辞めることになるかもしれないという考えもありましたし、貯金も少しありましたから、2坪程度の小さなお店をダメで元々でやってみて、畑などもできればいいなと。それが11年ほど前のことです。ちょうど子育てもひと段落していましたし、食に関する勉強をしたいという気持ちもありました。

……それが中東さんのお店「すとろーはっと」ですね。

お店と言っても、毎週金曜日しか開店していませんけど(笑)。お客様も常連さんばかりですから、Faxで注文を入れて、金曜日にお店まで取りに来てくれます。料金も自分で計算してくれるし(笑)。私がこのお店でやりたかったのは、食の大切さを子育て中のお母さんたちに発信すること。それと、お母さんたちがコミュニケーションを取ったり、気軽に相談できる場所を作ること。私自身、30年前に大阪から名張市に引っ越してきて、3人の子どもを育てましたから、子育ての悩みを相談したり、本音で甘えたりできる場所が欲しいと思っていました。どんな人でも、子育ては悩むものです。「子育てで悩んだことがない」なんて、100%ウソですよ。



むぎわらぼうしの会
中東和代
さんに
聞く

……どんな相談がありますか?

アトピーやぜん息など病気の相談もありますし、登校拒否など心の相談もあります。店を始めた当初は大人の病気、高血圧やガンなどの相談が多かったのですが、今は子どもの病気で悩んでいるお母さんたちが増えてきました。当初から私の願っていた方向に向かっていくということですね。子どもの病気は、お母さんが落ち着いて、三食きっちり昔ながらの食事を食べれば、ほとんど治ります。

……病院での治療から、食事療法に切り替えるのに、抵抗のある人もいるのでは?

私に相談に来る方は、病院や健康食品などで治らなかった方たちなんです。もう、ワラでもつかむ思いで来てくれますから、まず話を聞いて、「あなたに治す気があれば大丈夫。一緒にやっとう」と話します。この11年で私の経験も増えましたし、実際に食事で病気を治した子どもたちもたくさんいますから、そう言えるのです。

……お店で扱っている商品を紹介したりもするのですか?

訪れてくれた人に何かを売りつけるようなことはしてはいけなと思っています。例え、その商品がどんなに良い物でもです。この店に来てくれるのは、病気や悩み事のある人ばかりですからね。私も「困ったことがあったら、私の顔を思い出して、24時間、いつでも参上するから」と、みんなに言っています。

……24時間ですか?

昨日も夜中の2時に、子どもが熱を出したという連絡をもらって、行ってきました。今、風邪が流行っているし、ぜん息の子も多いので大変です。それにこの辺りは大阪まで通勤しているお父さんが多いでしょう?子どもが病気になっても、お母さん一人で大変なことはいけない場合が多いですから、そんな時には救急車より先に、私を呼んでもらいます。

……病気の治療をするのですか?

薬を使わない、昔ながらの手当。例えば、赤ちゃんの発熱は便秘が原因の場合が多いので、浣腸をして、番茶を飲ませて様子を見るとき、いわゆるおばあちゃんの知恵袋です。それに顔を見せて「大丈夫よ」と声を掛けるだけでも安心できるでしょう?お母さんの動揺を子どもが察して、症状が重くなることもありますから、まずはお母さんが落ち着くのが大事。子どもも、私が手をにぎって「おばあちゃんが熱を下げてあげるから、大丈夫」と言うと、それだけで落ち着きます。

……でも、時には中東さんの手に負えないこともあるのでは?

私と同じような考え方をされている大阪の小児科の先生や、東洋医学の世界で有名な鍼灸医の方などが、24時間、いつでもボランティアで相談ののってくれます。やはり、命に関わることですから、きちんと態勢を整えておかないとね。

……遠くから相談に来る人もいるのでは?

結構、クチコミで広がって、遠くは熊本県、県内では伊勢までしばらく通っていたこともありましたが、今はインターネットでも相談を受けていますから、質問は全国から来ます。

……いろんな相談ケースの中で、印象に残っていることは?

始めたばかりの頃に、私の子どもと同世代の子が拒食症になったと店を親子で訪れてくれました。食事を大切にするという考えは今と変わりませんし、私も頑張っていたのですが、情けないことに知識がまだまだ足らなかった。そのお母さんとも信頼関係が上手く作

れずに終わってしまいました。経験を積んだ今なら、もっと上手くいったと思います。

優しい人間関係があれば、ほとんどの病気はなくなるんじゃないかな。

……逆に、治って感謝されることも多いでしょう?

私に感謝するのではなく、その喜びをみんなに返したいという気持ちから、今の店舗を建ててくださった方たちがいます。活動するためには電話代やガソリン代など、必要なお金って絶対にあります。資金的にマイナスが続くと、活動も続かないと思いますが、私の場合、ありがたいことにお店の売り上げが、運営費になっています。また、治ったら、ここに来なくなる方も多いですよ。病気の時、みんなせば詰まっていますから、治ったら振り返りたくないのでしょうか。でも、それでいいんです。ただ、周りの人が困っている時に、「すとりーはつとに行けば?」と発信してくれればいいんです。私、今の日本人が抱えている病気の中で、本当に病気と言えるのは1割ぐらいだと思っています。優しい人間関係があれば、ほとんどの病気はなくなるんじゃないかな。

むぎわらぼうしの会

……すとりーはつとに集った人たちの活動もあるのですか?

一緒に運営してくれる仲間が集まり出したので、昨年「むぎわらぼうしの会」というネットワークを作りました。料理教室や講演会などを開催しています。

……メンバーはどうやって集めたのですか?

今、中心になって活動してくれている人たちと出会ったのは10年ほど前。今はベテランお母さんの彼女たちもまだ30~40歳代でした。でも、彼女たちの話を聞いたり、その能力を見たりするうちに「この子たちはすごいな。何年か経ったら、人間的に大きくなるだろうな」と思って、手放せませんでした。とにかく、向上心がものすごくありましたね。その分、文句も多かったけど(笑)。子育てに専念したいからとお仕事を休まれているお母さんたちの中には、才能がある方がたくさんいます。なかには学校の先生や助産婦さんなど、専門知識を持っている人もいますし、コツコツを資格を取っている人もいます。そんな人たちがチームになって、将来的にはあらゆる相談に応じていければいいなと思っています。実際、何人かは今も私と一緒に、いろんな相談に応じてもらっています。

……メンバーは何人ですか?

会費なども無い、繋がりがなので何人とは言えません。「手伝いましょうか?」と手を挙げてくれる人たちが、その時々で動いてくれます。どんな人でも一人や二人は友だちがいるでしょう?その友だちグループが、他のグループとも繋がっていく。そんな感じです。

……活動の内容を詳しく教えてください。

料理教室は月1回開催しています。1年の内、4回は味噌やお漬物など、伝統食をつくります。結構、年輩の方も参加されていますよ。あと、お母さんと赤ちゃんの教室も定期的に行っています。こちらの講師は助産婦さん。メンバーの一人です。その他、年数回、イベントも行っています。このイベントはメンバーだけでなく、誰でも参加できるものです。お正月前はおせちフェア。メンバーがおせちを一品ずつ持ち寄って、食べて、遊ぼうと思っています。春は山菜採り。山菜料理を食べながら「よもぎは肝臓にいいのよ」とお話しします。

……特別な企画もあるのですか?



お店であり、活動の拠点である「すとりーはつと」。裏には小さな畑もあります。

今年の10月に講演会を行いました。「子どもの病気は食べて治す」という本を書かれた真弓定夫先生という小児科医の方を招きました。病気の症状に対処していくのではなく、病気が起こった根本である食生活から変えていこうと提唱されている素晴らしい先生です。この時は教育委員会の後援もいただいて、名張市と上野市の学校すべてにチラシを配りました。真弓先生は自然流の育児を考えている人たちの間では著名ですし、宣伝も頑張りましたから、定員いっぱいになると思っていたのですが、ふたを開けてみたら80人!でも、後で話を聞いたら、講演会で80人も集まるって、すごいことなですって。今の若いお母さんたちは、お金を払ってまで、人の話を聞こうとは思わないそうですよ。結局、赤字を出したのですが、反省会の時、スタッフみんながめげないで来年もやろうって。参加された方は80人全員がすごく喜んでくれましたからね。

……赤字の補填は?

市からちょっと援助いただいていたことと、講演会以前のイベントなどで、少しプールしていた資金がありましたので、それで補填できました。でも、プール分が無くなったから、また頑張らないと。

……頑張りが続きますね。

昔はもっと赤字でしたから(笑)。夫が働いているから、何とか続けられたようなもの。でも今はぐ〜んとラクになりました。他のメンバーたちが動いてくれて、私は子守係(笑)。そうなったことが感激です。

子どもはみんなの宝

……11年続けてこれたパワーの源は?

自分の子どもは独立しましたから、自由に動ける(笑)。それに夫の協力が大きいです。私が突然、出かける時も「食べ物は大事だけど、俺はお茶漬けか」って、笑ってます。

……ご家族の病気を乗り越えた経験を共有されていますからね。振り返ると家族の病気も、そのために大金を使った事も、全部、今に繋がっています。食に興味を持ったことで、今後は農作業にも取り組みたいと思っています。農作業をしているグループや農家の方と繋がって、子どもたちに農業を経験させてあげたいのです。そして、食べることがどんなに大事で、ありがたいことか、わかってもらいたいですね。子どもはみんなの宝です。自分の子も、隣の子も同じように考えなければ、社会は変わりません。みんなで見守ることが大切なのです。今の厳しい世の中では、働いている人は仕事に追われてしまって、両親が揃って子育てをするのは難しいでしょう。だから、おばあちゃんが助けてあげるの(笑)。

……おばあちゃんって、中東さんのことですか?

おせっかいなね。今、集まってきている小さな子は、私を「おばあちゃん」って呼ぶの。小学生の子は「おばちゃん」って言ってくれますけど(笑)。でも私、年を取りたいと思います。私が年をとれば、とるほど、相談者の方から信頼されますから。こちらが若いと不安がられるでしょう。もう10年、20年したら、もっとみんなが話を聞いてくれると思います。そして、今の子どもたちが大きくなった時に「おばちゃん、ありがとう」って言ってくれるような世界を残したいですね。

むぎわらぼうしの会(すとりーはつと)

Tel.0595-66-1223 Fax.0595-66-1224

中東和代さんはこの人を紹介します。

福森和民さん

子どもたちが「自分のたべものを自分でつくってみる」農業体験を行える、大山田農業小学校のメンバーです。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

8 **R100** PRINTED WITH SOYINK 古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。